

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経営学部	経営学科	夜・ 通信		132	48	180	13	
	イベントプロデュース 学科	夜・ 通信			106	238	13	
		夜・ 通信						
		夜・ 通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPの情報公開にて公開

*ホームページURL：<https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.fuji.ac.jp/guidance/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学医学部教授	R5. 6. 1～ R9. 5. 31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤		R6. 4. 1～ R9 定時 評議員会 終結時	大学経営に対する 総合的助言
非常勤	株式会社取締役会長	R5. 6. 1～ R9. 5. 31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤	医療法人理事長	R5. 6. 1～ R9. 5. 31	大学経営に対する 総合的助言
非常勤		R7. 6. 12～ R11 定時 評議員会 終結時	大学経営に対する 総合的助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準を具体的に学生に開示するため、シラバスにおいて学習の到達目標と評価基準の明示を行っている。 学習・教育目標、評価方法および評価基準、評価の配分について、各項目を設定し、具体的に記載している。 なお、学生はシラバスをPC やスマートフォンから大学学務システムにログインすることで閲覧でき、大学ホームページにも掲載し公表している。シラバスは、年度当初の履修登録前までに公開している。	
授業計画書の公表方法	大学 HP に掲載 学部：https://www.fuji.ac.jp/academics/silabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学では、厳密な単位認定を実現するため、年度当初に専任教員及び非常勤教員に対して成績評価の基準値を定め、学部長から発信を行い、明確に提示している。 また、成績評価基準及び GPA 制度の内容について学生要覧に記載し、教員並びに学生に周知して学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を付与している。 なお、卒業論文は専門演習履修者に限り「論文指導(卒業論文)」(2単位)の履修を認めている。専門演習と同じ担当教員の審査によって単位修得を認めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学では、成績評価においてグレードを 5 段階で設定して GPA の算定を行っている。履修登録したすべての科目が GPA の算出の対象となる。履修放棄の科目、出席不良等で「停止」評価の科目も含まれるので十分な学習計画を立てることが必要である。GPA は、成績評価に対してそれぞれのグレード・ポイント (GP) を与え、GP に各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修登録単位数で割ることにより算出している (認定科目は含まない)。 全教員の成績評価後に、授業評価報告書の提出を義務づけている。この授業評価報告書において、成績の分布状況について示し、改善が必要な場合に指導をすることができる。このように PDCA サイクルを用い適切な成績評価を行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学 HP に掲載 (2025 年度版は P53～)。 https://www.fuji.ac.jp/students/student_outline-2/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業認定の基本方針であるディプロマ・ポリシーでは、「経営学を基礎とする人間教育及び将来の職業生活へとつながる実践的教育を実現することをめざし、時代の変化に柔軟に対応し得る応用力、特に課題発見能力と問題解決能力の育成を重視」するとの前提に基づき、所定単位修得及び経営学の知識の習得とその活用、情報分析と問題解決への論理的思考、能動的・創造的行動等の能力を習得した学生に対して学位を授与するとしている。 ディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学では教育内容に関して、本学学生が習得すべき能力を反映するカリキュラム・ポリシーを策定しており、両者には一貫性をもたせている。 なお、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとも本学ホームページに掲載し、これを周知している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学 HP に掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/business/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京富士大学
設置者名	学校法人東京富士大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公表:令和6年度決算書(16p)に掲載 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/06/88ddbd528b68ac66124137919d70c73f.pdf
収支計算書又は損益計算書	HPにて公表:令和6年度決算書に掲載 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/06/88ddbd528b68ac66124137919d70c73f.pdf
財産目録	HPにて公表:令和6年度決算書(17・18p)に掲載 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/06/88ddbd528b68ac66124137919d70c73f.pdf
事業報告書	HPにて公表:令和6年度事業報告書 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/06/ea1945742ac7716182828aeed1722e4c.pdf
監事による監査報告(書)	HPにて公表:令和6年度決算書(19p)に掲載 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/06/88ddbd528b68ac66124137919d70c73f.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://www.fuji.ac.jp/guidance/evaluation/>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法：HPに掲載 https://www.fuji.ac.jp/guidance/guidance/about/) (概要) 創立者高田勇道先生が掲げた「人道による世界平和」実現の理想のもと、「建学の趣旨」に則り、社会に貢献できる有為の人材を育成するため、時代に即した「人間教育」を行う。社会科学教育によって、職業ならびに社会生活において必要とされる能力を育成するとともに、幅広い教養教育によって品位の向上につとめ、判断力を養い、人間性豊かな調和のとれた教育を行う。 また、「教育とは学生に生命をあたえてゆくことである」という創立者の自戒の言葉を「教育指針」としている。つまり、教育は単に知識を学生に教授することだけではなく、創立者が掲げた理想を学生に伝えながら、その夢を育み、学ぶ意欲を喚起するところの人間的な触れ合いを大事にする「人間教育」を行っていく。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：HPに掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/business/) (概要) 東京富士大学経営学部（以下、本学）は、建学の精神及びこれに基づく基本理念並びに教育目的（学則第3条の2）、経営学を基礎とする人間教育及び将来の職業生活へとつながる実践的教育を実現することを目指し、時代の変化に柔軟に対応し得る応用力、特に課題発見能力と問題解決能力の育成を重視している。従って、本学学則に定める履修条件を満たし、124単位以上を修得したものに学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：HPに掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/business/) (概要) 1) 初年次教育では、経営学を学ぶ上で必要な基礎知識と、大学で学ぶ意義と学び方の方法論（アカデミック・スキルズ）を必修科目である基礎演習により対話と議論を通じて学習を進めるとともに、初年次の学生のケアを含めたきめ細かな個別指導により円滑な学生生活をスタートできるような仕組みを構築している。 2) 総合教育科目は、豊かな人格教育と幅広い見識や教養を身につけさせ、人間性、創造性を育むために自然科学、社会科学、人文科学全般にわたる教育内容を提供し、豊かな演習、教養、多文化共生、コンピューター、スポーツ、キャリア科目および学生の自主的で多岐にわたる活動に応じて認定される認定科目といった多彩な科目で構成されている。 3) 外国語教育では、英語教育において習熟度別クラス編成を採用し、グローバル社会に対応するため英語を含めた語学の能力を高める多文化理解科目を配置し、高度なコミュニケーション力を育成するプログラムを編成している。 4) 本学では、経営学教育の中核をなす専門科目に関して、必須科目である経営学や選択科目である経済学・法学などの基礎的な知識を身につけた上で、応用科目や発展科目を体系的に履修できるようなカリキュラムマップ（コース別）を作成し、学生に提示している。 5) 本学では、演習型の教育を重視しており、1年次「基礎演習」、2年次「プレ演習」、3年次「専門演習Ⅰ」、4年次「専門演習Ⅱ」を配置、非ゼミの学生には、単年度ゼミも設置し、学生の多様なニーズに対応したゼミ活動をしている。 6) 本学は、専門教育における学修成果を年1回（11～12月）、全学的な取り組みとした「ゼミ発表大会」を開催し、その発表内容・方法において優秀な発表に対して表

彰するなどして、学生の課題解決やプレゼンテーション能力などを涵養している。 7) 将来のキャリアに対する意識を高めるため、1年次より履修科目「キャリアデザイン」を配置するとともに、学生の就職支援を積極的に推進するため「就職特講Ⅰ・Ⅱ」を開講し、1年次から4年次まで一貫した就職支援教育を提供している。 8) 地域の企業・金融機関や自治体などと連携した体験型の講義・演習を取り入れ、現場での経営学教育を行っている。とくに、企業現場での課題発見から解決まで自ら体験することや経営者との議論を通じて、学生の問題解決能力を育成している。 9) 人間心理に対する深い理解と経営的センスを兼ね備えた人材を育成するため、心理学（組織行動、社会心理学など）を取り入れた教育を実施している。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：HPに掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/business/） （概要）本学は、知識を詰め込む教育ではなく、社会やビジネスで生ずる様々な課題や問題を発見し、試行錯誤しながら自らそれを解決しようとする態度や能力を育成する教育を行います。このため、いわゆる学力のみならず入学志願者の個性や意欲に着目するとともに、今後、社会において活躍できる将来性や潜在能力も考慮して、志願者を選抜します。 1) 自己の興味や関心のある事柄について、自ら新しい知識を得たり課題を発見しようと努力することができる者を求めている。 2) 人間社会や企業経営の新しい動向や変化に興味を持ち、社会の発展のために積極的に貢献しようとする意欲を持っている者を求めている。 3) 多様な価値観を尊重し、多くの人と協同して物ごとに取り組むことができる者を求めている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HPに掲載 <https://www.fuji.ac.jp/guidance/publication/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1 人	—					1 人
経営学部	—	2 1 人	1 3 人	5 人	1 人	人	4 0 人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		7 6 人					7 7 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学 HP（教員紹介・教員の業績）に掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/teachers/ https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/04/0c1214a6felc67e6b069513efc9d751c.pdf					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営学部	220人	227人	103.2%	880人	863人	98.1%	若干名人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	220人	227人	103.2%	880人	863人	98.1%	若干名人	2人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	224人 (100%)	1人 (0.4%)	188人 (84%)	35人 (15.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	224人 (100%)	1人 (0.4%)	人 (84%)	35人 (15.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 大学 HP に掲載 (シラバス) https://fujiac-web.campusplan.jp/cpsmart/public/dashboard/main/ja/simple/1900/3000120/wsl/SyllabusKensaku
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 大学 HP に掲載 https://www.fuji.ac.jp/academics/business/				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	124単位	有・無	単位
	イベント プロデュース学科	124単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学 HP に掲載 https://www.fuji.ac.jp/msup/wp-content/uploads/2025/04/951e06f66e9d49410ee7f2b53fe46e76.pdf https://www.fuji.ac.jp/guidance/facility/ https://www.fuji.ac.jp/access/
